パターン認識論宿題3

氏名; 津波古正輝 学籍番号;075739 提出日;(5/25, 火曜日)

DP を用いて異なる文字の数を決定するプログラムを作れ。ソースプログラムをレポートで報告せよ。プログラムの使い方、実行例、プログラムの限界などの考察を示せ。

作成したプログラムの抜粋部分を示します。変数や関数の意味はソースコードに書いてあるので それを見てください。

```
//d(距離)(違い)を調べる
printf("距離表(縦横が一致しているかどうか。0 ならば一致);d(i,j)");
 for(i = 0 ; i < Alen ; i++ ){</pre>
   printf("\n");
   for(j = 0 ; j < Blen ; j++){
     if(A[i] == B[j]){
       d[i][j] = 0;
     }else{
       d[i][j] = 1;
     printf("|%d",d[i][j]);
   }
 }
 printf("\n\n");
 //g(総コスト) を求める
 printf("コスト表;g(i,j)");
 g[0][0] = 2*d[0][0];//初期化
 //縦横一列ずつ求めていく
 //g(0,n),g(n,0) を最初に求める (n は要素数)
 for(i = 1 ; i < Alen ; i++){}
   g[i][0] = d[i][0] + g[i-1][0];
 for(j = 1 ; j < Blen ; j++){
   g[0][j] = d[0][j] + g[j-1][0];
 //g(1,1) を求め、上と同じように g(1,n),g(n,1) を求めていく
 //上記の手順でg(n,n) とそれに関係する縦横を求めていく
 int k,1;
 i = 1, j = 1;
 k = i, l = j;
 for(; (i < Alen) && (j < Blen); k++,l++){
   for(; i < Alen ; i++){
     under = g[i-1][j] + d[i][j];
     right = g[i][j-1] + d[i][j];
```

belowRight = g[i-1][j-1] + 2*d[i][j];
g[i][j] = min(under,right,belowRight);

```
i = k;
for(; j < Blen; j++){
   under = g[i-1][j] + d[i][j];
   right = g[i][j-1] + d[i][j];
   belowRight = g[i-1][j-1] + 2*d[i][j];
   g[i][j] = min(under,right,belowRight);
}
j = 1;
}</pre>
```

プログラムの使い方;

- コンパイル後、実行コマンドを入力する。
- typeAの文字列と typeBの文字列を打ち込むよう指示があるので2つの文字列を入力する。
- あとはプログラムが相違度を調べてくれる
- 一番右下にでる数字が相違度である

```
実行結果
/Users/tsuhakomasaki/Desktop/Dp# gcc -o DP -02 -Wall DP.c
/Users/tsuhakomasaki/Desktop/Dp# ./Dp
typeAの文字列を入力してください(縦)
abdb
typeBの文字列を入力してください(横)
abcde
距離表 (縦横が一致しているかどうか。0 ならば一致);d(i,j)
|0|1|1|1|1
|1|0|1|1|1
|1|1|1|0|1
|1|0|1|1|1
コスト表;g(i,j)
10|1|2|3|4
1110111213
|2|1|2|1|2
|3|1|2|2|3
よって typeA と typeB の相違度は3である
(相違度が小さいほど似ている)
```

プログラムの限界点

- : 100 文字以上の文字列は求められない
- : for 文が多く使われているので改良の余地あり
- : アルゴリズムがわかりにくく、プログラムの体裁が汚い